

---

## 「高齢者寛骨臼骨折におけるセメントカップを用いた一期的人工関節置換術の有用性を調査する研究に関するお知らせ」

---

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2012年01月01日から2023年12月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センターを受診し、寛骨臼骨折と診断され、検査、手術を実施した患者さんを対象としております。

#### 2. 研究の目的

高齢者寛骨臼骨折の治療で、骨セメントを用いて寛骨臼カップの固定を行なう、一期的人工関節置換術の有用性を調査する研究です。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2025年01月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2024年05月02日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

レントゲンやCTなどの画像情報、診療録記載内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センターにおいて、研究責任者である上田 泰久が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

#### 2. 試料・情報の取得方法

寛骨臼骨折と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

#### 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 上田 泰久（研究責任者）
- ・埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 澤野 誠（研究実施者）
- ・埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 井口 浩一（研究実施者）
- ・札幌徳洲会病院 整形外科外傷センター 倉田 佳明（提供責任者）

#### 4. 試料・情報の管理責任者

試料・情報の授受を行う場合

<提供元機関> 札幌徳洲会病院 整形外科外傷センター 院長 奥山 淳

<提供先機関> 埼玉医科大学 総合医療センター 病院長 別宮 好文

#### 5. 試料・情報の提供方法等について

<情報> データは研究用識別コードにより特定の個人を識別できないように加工した上で、パスワードをかけた電子ファイルが、メールで送信されます。

#### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 上田 泰久

住所：〒 350-8551 埼玉県鴨田 1981

電話：049-228-3755（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：高齢者寛骨臼骨折におけるセメントカップを用いた一期的人工関節置換術の有用性を調査する研究

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 上田 泰久